

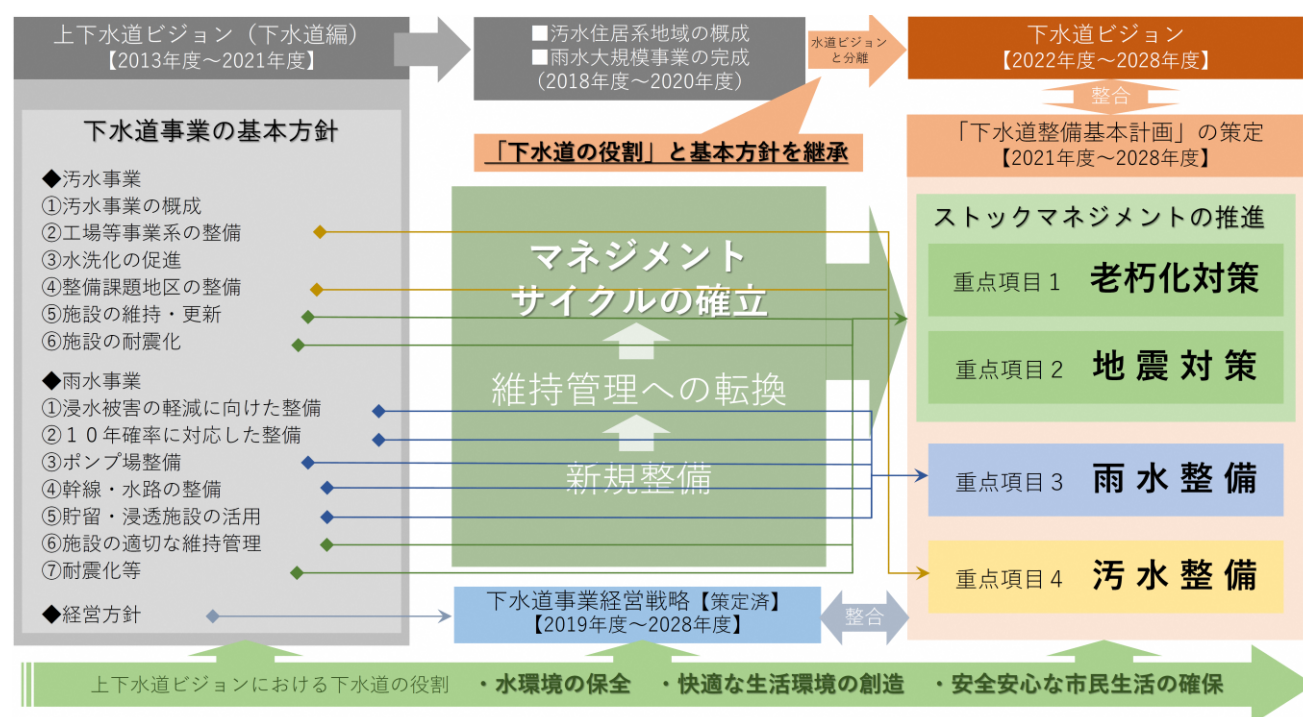
枚方市下水道整備基本計画策定の進捗状況について

資料 2

1. 計画の骨子

- 第1章 策定の趣旨と位置づけ
第2章 下水道事業の概要
第3章 これまでの取り組み
- 過去・現状の確認
- 第4章 整備事業の重点項目
第5章 基本的な考え方
第6章 「整備計画」の事後検証・更新等に関する事項
- 将来計画

2. 整備事業の重点項目



3. 基本的な考え方

重点項目1 老朽化対策

(1) ポンプ場の老朽化対策

【ポンプ場一覧】

種別	ポンプ場名	供用開始年月日	経過年数	自然吐水路	耐震基準	備考
雨水	北部ポンプ場	昭和46年4月1日	48	無	旧耐震	
	藤本川ポンプ場	昭和59年3月19日	35	有	新耐震	
	黒田川ポンプ場	昭和54年4月1日	40	有	旧耐震	
	新安居川ポンプ場	昭和38年4月1日	56	無	旧耐震	
	溝谷川ポンプ場	昭和46年4月1日	48	有	旧耐震	
	犬田川ポンプ場	昭和60年4月1日	34	有	新耐震	
	安居川ポンプ場	昭和38年4月1日	56	有	旧耐震	
	蹠陀ポンプ場	昭和49年4月1日	45	有	旧耐震	
	深谷ポンプ場	昭和47年4月1日	47	無	旧耐震	寝屋川市管理
汚水	出口汚水中継ポンプ場	平成元年5月1日	30	-	新耐震	
	長尾家具町汚水中継ポンプ場	昭和44年6月15日	50	-	旧耐震	耐震補強済

【ポンプ場の現状（北部ポンプ場）】



【優先して対策するポンプ場】

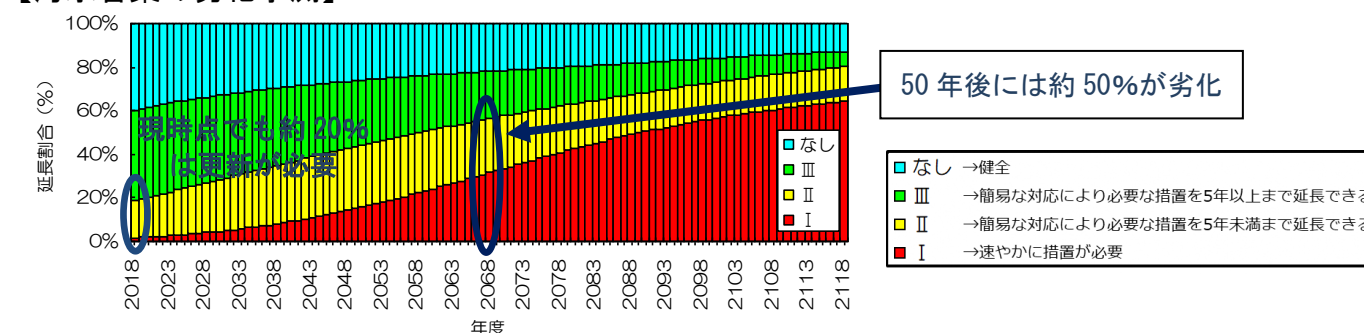
- ◆自然吐水路が無いポンプ場
 - ・北部ポンプ場(48年経過)
- ◆年数が経過しているポンプ場
 - ・安居川ポンプ場(56年経過)
 - ・溝谷川ポンプ場(48年経過)

【スケジュール】

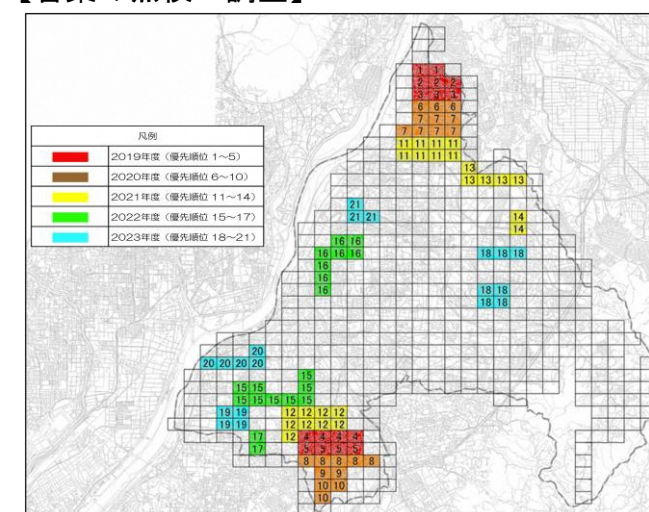
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
耐震診断	→							
耐震補強	←	←	←	←	←	←	←	←
電気設備		←	←	←	←	←	←	←
機械設備			←	←	←	←	←	←
分解調査	←	←	←	←	←	←	←	←

(2) 管渠の老朽化対策

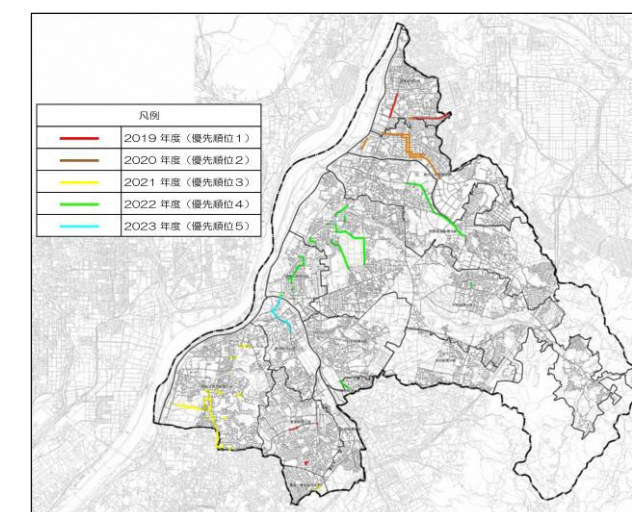
【汚水管渠の劣化予測】



【管渠の点検・調査】



↑ 短期点検計画（～令和5年度(2023年度)）



↑ 短期調査計画（～令和5年度(2023年度)）

【管渠の改築】

- ◆調査延長の約20%が要対策 → 改築（管更生、入替え）
- ◆調査延長の約50%が要補修 → 部分補修

重点項目 2 地震対策

【地震対策の対象管渠および現状】

	汚 水	雨 水	合 計
対象延長 (重要な幹線等)	161.5 km	51.7 km	213.2 km
耐震化済延長	39.3 km	15.8 km	55.1 km
耐震化率	24.3%	30.5%	25.8%

- ◆重要な幹線等
- ①ポンプ場・処理場に直結する幹線管路

②河川横断管（一級河川・準用河川のみ）

③軌道横断管

④緊急交通路埋設管（車道部のみ）

⑤相当広範囲の排水区を受け持つ吐き口に直結幹線管路

⑥防災拠点や避難所、又は地域防災対策上必要と定めた施設からの排水を受ける管路

【計画期間内の地震対策事業】

①『重要な幹線等』のうち、特に優先度の高い路線の耐震化（汚水：約 1.5 km、雨水：約 90m）

◆特に優先度の高い路線

『重要な幹線等』の②、③、④、⑥のうち、昭和 55 年(1980 年)以前に施工されたもの

②その他の『重要な幹線等』（L=157km）の耐震化へ向けて、令和 2 年度（2020 年度）に簡易診断を行った結果により対策工事を実施

重点項目 3 雨水整備

【主要な管渠の整備率】

番号	排水区	延長 (m)	流下確保 (m)	流下断面 確保率	番号	排水区	延長 (m)	流下確保 (m)	流下断面 確保率
1	楠葉	6,101	3,736	61%	12	津田	951	112	12%
2	車谷川	1,085	360	33%	13	安居川	754	754	100%
3	八田川	1,478	803	54%	14	新安居川	2,222	1,203	54%
4	藤本川	6,589	3,255	49%	15	犬田川	2,600	1,690	65%
5	鎮守川	2,584	249	10%	16	申田川	78	78	100%
6	長尾	4,533	1,417	31%	17	蹉跎	12,351	8,850	72%
7	黒田川	23,738	10,467	44%	18	香里	5,397	1,183	22%
8	前田川	6,051	1,287	21%	19	小川	3,004	1,293	43%
9	穂谷川	7,118	1,035	15%	20	深谷	2,136	2,071	97%
10	溝谷川	3,816	2,889	76%	21	北谷川	385	167	43%
11	野々田川	7,007	3,341	48%	合計		99,978	46,240	46%

【雨水整備の考え方】

①10 年確率降雨対応の整備

原因：流下能力不足

対応：下水道法の事業計画に位置づけた 10 年確率降雨による主要な管渠の整備

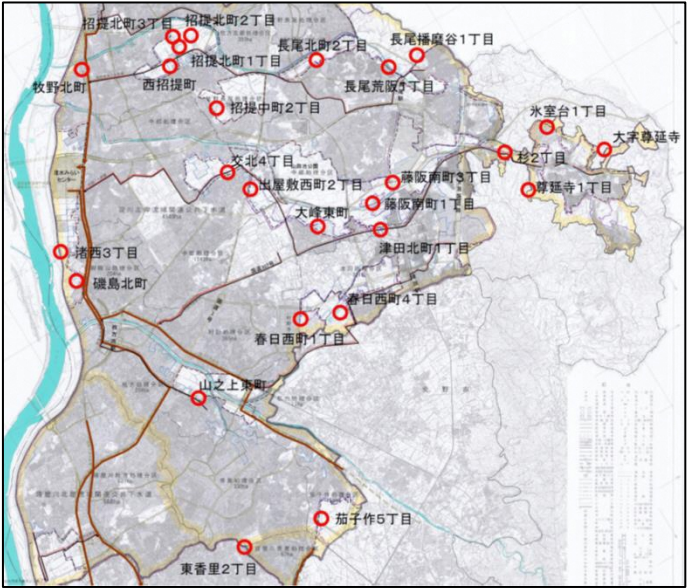
②局所的な対策

原因：地形上の理由など

対応：管渠整備や小ポンプの設置など

重点項目 4 汚水整備

【住居系地域概成後の残事業地域】



【整備課題地区】

種別	件数 (箇所)	戸数 (戸)	主な理由
未承諾地区	95	約1,700	・代償要求 ・所有者の所在不明 ・近隣とのトラブル ・行政への不信・不満
整備困難地区	12	約160	・低地・支障物により自然流下 が不可能

【汚水整備の考え方】

- ◆公衆衛生の向上や水質の保全など、下水道法の趣旨に則り、着実な整備が必要
- ◆事業実施にあたっては採算性を考慮し、優先順位などを総合的に判断

4. 「整備計画」の事後検証・更新等に関する事項

- ◆計画期間の令和 3 年度（2021 年度）から令和 10 年度（2028 年度）の 8 年間のうち、「下水道事業経営戦略」の定期見直しと合わせて令和 5 年度（2023 年度）に中間見直しを実施
- ◆その他にも、必要に応じて臨時的な見直しを実施

5. 今後のスケジュール(予定)

	令和元年度			令和2年度												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
素案の作成	→															
パブリックコメント										↔						
計画策定															★	
経営審議会報告(予定)								★					★			